

4年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土)3校時

4年1組 27名 授業者 田後 洋平

4年2組 28名 授業者 青木 哲男

1 主題名 公平な見方で 内容項目:A(4)個性の伸長

2 教材名 「決めつけてないかな」 光村図書

3 ねらい さまざまな場面での何気ない言動の中に「決めつけてないか。」と疑問を感じる「わたし」の姿などを通して、決めつけないための大切なことを考えさせ、誰に対しても公正、公平に接しようとする判断力を育てる。

4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	1 自分の経験を振り返り、課題意識をもつ。 ○何かを決めつけられて、「嫌だな。」と思ったことはありませんか。 ・新聞系の仕事で文章を書きたかったのに、「絵が得意だから。」と、絵を描く係にされてしまった。 ・本を読みたかったけれど、「男の子だから昼休みは外で遊ぶのが好きだよ。」と言われた。 何かを決めつけないためには、どんなことを大切にするといいでしょう。
展開	2 「決めつけてないかな」を読んで、話し合う。 ①から③は、どこが決めつけなのでしょう。 ・①は、「ダンスが上手なのは、家族がプロダンサーだから。」だと言っている。 ・②は、「他の地域から来たから、祭りのよさは分からない。」と言っている。 ・③は、「男の子だから、虫を追いついて。」と言っている。 3 決めつけることは、どうしてよくないのでしょうか。 ・決めつけられた人が嫌な気持ちになるから。 ・相手ががんばっていることや、やろうと思っていることを見ていないから。 ・決めつけてしまうと、本当ならチャレンジできたことに挑戦できなくなるから。 4 決めつけをしないためには、どんなことを考えるとよいでしょう。 ・自分が相手のことをよく見ているかどうか。 ・相手が言われたらどんな気持ちになるか。 ・当たり前だと思っていることが本当かどうか。
終末	本時の学びを振り返る。 ○今日の学びを振り返りましょう。

5 評価

・決めつけられたときの気持ちや、決めつけていることのデメリットを考え、「誰に対しても公正、公平な態度で接することの大切さについて」考えているか。